

四條畷市教育委員会ニュース

(学校教育課)

内容：

- ・平成29年度小中学校入学式
- ・平成29年度こども園入園式
- ・支援教育課程説明会

小・中学校で入学式

～新入生を迎える嬉しさが伝わりました～

4月6日(木)午前10時から、美しい満開の桜が咲き誇る中、市内の公立小学校7校で入学式が行われました。

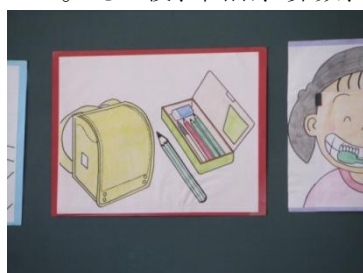
くすのき小学校では、1年生が校舎出入口に張り出された名簿から自分の名前を見つけてクラスを知った後、受付を行い、保護者は体育館へ、1年生児童は6年生に手を繋いでもらい、教室へ向かいました。教室では名前が貼られた自分の席に案内され、緊張しながら座りました。入学式が始まるまでの時間を使って、1年生の緊張を解すため、6年生が本の読み聞かせをしました。

開始時刻が近づくと、体育館入口では1年生と6年生が手を繋ぎ、いよいよドキドキの入場です。保護者や教職員等の温かい拍手に迎えられ、6年生の演奏に合わせて、元気に明るく、ちょっぴり

緊張した表情で式場に入場しました。

入学式の挨拶の中で、香村紀子校長から「学校はたくさんの人が仲良く勉強するところ、たくさんの人と仲良くなる方法は、少しの勇気を出してあいさつをすることです。」とお話がありました。

校長先生、PTA会長の挨拶のあと、在校生代表の2年生が校歌を歌いました。その後、国語、算数、英語の勉強や給食などの学校生活を紹介しました。



入学式の後、1年生は教室で担任の先生から、学校に来るときの5つの約束を教わりました。①早寝、早起きをする ②朝ごはんを食べる ③食後の歯磨きをする ④前日に明日の準備をする ⑤班長さんの言うことを聞いて、安全に気をつけて登校する この5つの約束を守って、毎日、元気に登校しましょう、とお話がありました。

また、4月7日(金)午前10時から、市内の公立中学校4校で入学式が行われました。

四條畷南中学校では、担任の先生を先頭に、1年生が吹奏楽部の演奏に合わせて場内に入場してきました。

堀池洋一校長は、「南中学校へようこそ。皆さんの中学校での活躍が楽しみです。夢と希望を持って中学校に入学した今の気持ちを忘れずに、自分



自分が納得する3年間とするため、自分の道を見つけ、全力を尽くしてほしい。自分を大事にするとともに、自分に厳しくし、自分を成長させる3年間であってほしい。また、人にはそれぞれ個性があるので、自分と他人を比較することなく、自分のできることを精一杯やっている人のことを認めてほしい。」とお話がありました。

次に、1年生の代表が「いろいろな不安がありますが、その不安より期待の方が大きく、頑張っていきます。」と新入生としての決意の言葉を述べました。



続いて、在校生の代表が、「クラブでは先輩が優しく教えてくれます。不安もあると思いますが、楽しい行事もたくさんあります。何事も積極的にいきましょう。応援しています。一緒に南中を盛り上げていきましょう。」と、歓迎の言葉を述べました。

式後、1年生は教室に入りました。担任の先生から教科書が渡され、中学校生活について話を聞きました。1年生は、たくさんの教科書を前に、中学校の学習内容の多さを実感したようです。また、数学や英語など初めて習う教科書を興味津々で開いていました。

入園式

4月10日(月)午前10時から、四條畷市立忍ヶ丘あおぞらこども園で入園式が行われました。忍ヶ丘保育所と四條畷あおぞら幼稚園が統合し、今年度から幼保連携型認定こども園、忍ヶ丘あ

おぞらこども園としてスタートしました。すでに4月3日(月)には、出会いの日として2号3号認定のお子さんの入園式・進級式が行われました。

10日の入園式では50名の新入園児が仲間入りしました。0歳児のつぼみ組から5歳児のひかり組、にじ組まで約170人の園児に加えて、新入園児の保護者、職員、来賓があおぞら棟の遊戯室に集い、部屋は満員になりました。

清水美由紀園長から、「今年からこども園としてスタートし、たくさんのお友達がこの園に通います。新しい先生やお部屋に最初は慣れないかもしれませんが、すぐに慣れると思います。楽しい園生活を送りましょう。」とお話がありました。

最後に、先生のペープサートに合わせ、園児全員でチューリップの歌を歌って思い出に残る入園式を終えました。

入園式には、市長・府議会議員・市議会議長・教育長をはじめ、多くのご来賓の出席がありました。



支援学級教育課程説明会

支援学級教育課程説明会が4月10日(月)午後3時から、市役所201号会議室で行われました。市内小中学校の支援学級担任と管理職、合わせて約50人が参加し、市教育委員会指導主事から支援学級在籍児童生徒についての個別の教育支援計画や指導計画の作成方法について説明がありました。

四條畷市は平成27年度から2ヶ年で、公立小中学校、公立保育所、市立幼稚園、私立幼稚園、私立高等学校による調査研究を行い、「つながりシート」と「さぼーとシート」(「個別の教育支援計画」)の改訂や、大切にしたい引き継ぎ内容の整理を行いました。就学や進学に対する子どもや保護者の不安を軽減し、よりよい学校生活を支えるために、保護者と保育所・幼稚園等が「つながりシート」を、学校と保護者が「さぼーとシート」を作成・活用します。さぼーとシートを作成する際には、保護者と連携を十分に行い、保護者の思いを十分にくみ取りながら作成することが大切であることを、説明会の中で伝えました。

説明会の最後に、田原小学校通級指導教室担当の村田裕子先生から「支援学級で取り組んできたこと」の実践報告がありました。「指導者同士が連携し、助け合いながら、子どもたち一人ひとりに合った支援を行うこと、子どもの強みを伸ばし、子どもに共感できる感性を磨くこと、まずは受容、子どもたちや保護者に寄り添っていくことが大切である。」と報告がありました。

